

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【公開番号】特開 2019-201834 (P2019-201834A)
 【公開日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-048
 【出願番号】特願 2018-98390 (P2018-98390)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 22 日 (2019.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
 一連の所定演出を実行可能な所定演出手段と、
 前記所定演出の実行中に複数の示唆画像を表示して遊技者にとって有利となる有利度合
 を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出手段と、
遊技者の動作を検出可能な検出手段と、を備え、
 前記示唆画像の種類に応じて、示唆される有利度合が異なり、
 種類が異なる複数の前記示唆画像を互いに重畳し得る位置に表示可能であり、
 第 1 示唆画像と、該第 1 示唆画像よりも示唆される有利度合が大きい第 2 示唆画像とが
 互いに重畳し得る位置に表示される場合、前記第 1 示唆画像よりも前記第 2 示唆画像を優
 先的に表示可能であり、
前記検出手段が遊技者の動作を検出したことに応じて、決定された種類の前記示唆画像
を表示可能である、
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段 A の遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、
一連の所定演出を実行可能な所定演出手段と、
前記所定演出の実行中に複数の示唆画像を表示して遊技者にとって有利となる有利度合
を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出手段と、
遊技者の動作を検出可能な検出手段と、を備え、
前記示唆画像の種類に応じて、示唆される有利度合が異なり、
種類が異なる複数の前記示唆画像を互いに重畳し得る位置に表示可能であり、
第 1 示唆画像と、該第 1 示唆画像よりも示唆される有利度合が大きい第 2 示唆画像とが
互いに重畳し得る位置に表示される場合、前記第 1 示唆画像よりも前記第 2 示唆画像を優

先的に表示可能であり、

前記検出手段が遊技者の動作を検出したことに応じて、抽選で決定された種類の前記示唆画像を表示可能である、

ことを特徴とする。

さらに、手段１の遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって（例えば、パチンコ遊技機１等）、一連の所定演出を実行可能な所定演出手段と（例えば、一連のバトル演出を実行可能な演出制御用ＣＰＵ１２０等）、前記所定演出の実行中に複数の示唆画像を表示して遊技者にとって有利となる有利度合を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出手段と（例えば、バトル演出の実行中に複数の命中用テロップ画像を表示して大当たり信頼度を示唆するバトル中演出を実行可能な演出制御用ＣＰＵ１２０等）を備え、前記示唆画像の種類に応じて、示唆される有利度合が異なり（例えば、命中用テロップ画像の種類に応じて、示唆される大当たり信頼度が異なること等）、種類が異なる複数の前記示唆画像を互いに重畳し得る位置に表示可能であり（例えば、種類が異なる複数の命中用テロップ画像を互いに重複し得る位置に表示可能であること等）、第１示唆画像と、該第１示唆画像よりも示唆される有利度合が大きい第２示唆画像とが互いに重畳し得る位置に表示される場合、前記第１示唆画像よりも前記第２示唆画像を優先的に表示する（例えば、「ＨＩＴ！」の命中用テロップ画像６３ＳＨＴＢと、「ＨＩＴ！」の命中用テロップ画像６３ＳＨＴＢよりも大当たり信頼度が高い「ＧＲＥＡＴ！！」の命中用テロップ画像６３ＳＨＴＣとが互いに重複し得る位置に表示される場合、「ＨＩＴ！」の命中用テロップ画像６３ＳＨＴＢよりも前面側に、「ＧＲＥＡＴ！！」の命中用テロップ画像６３ＳＨＴＣを重複して表示すること等）ことを特徴とする。